

名古屋市緑生涯学習センターの管理運営状況

1 基本情報

<所管局:教育委員会事務局>

指定管理者	シンコーグループ		
主な業務内容	名古屋市緑生涯学習センターの管理		
評価対象期間	平成31年4月～令和2年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和4年3月

2 評価結果

評価項目		評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○
	(2) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○
	(3) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○
	(4) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○
	(5) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○
	(2) 修繕の実施	状況に応じ適切な修繕が実施されているか。	○
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○
	(3) 自主事業	利用促進のための取組みを実施しているか。	○
	(4) 広報・PRの実施	新規利用者を増やすための広報・PRに取り組んでいるか。 情報発信の拠点としての役割を果たしているか。	○
	(5) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○
	(6) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○
	(7) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	○
	(8) 自己評価	事業の評価と改善に取り組んでいるか。	○
	(9) 地域交流	地域・関係団体との連携、協力体制ができているか。	○
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○
	(2) 効率管理	管理経費が縮減されているか。縮減の努力がなされているか。	○
	(3) 委託	再委託の方法は適正か。	○

・出張教室を開催し、施設のPRに努めた。

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等

地域貢献事業として、救急救命講習や着衣泳講習、障がい者施設での水泳指導等を行った。自主事業を様々な対象の方に向けて企画し、数多く開催し、施設のPRも行ったことで、小学生の利用も増えてきている。デジタルサイネージを設置し、駐車場の混雑予想や講座広報など、利用者へ情報提供を行っている。その他の点も含め、全体として、仕様書に基づいた適切な管理運営がなされている。

施設の現状

名古屋市緑生涯学習センター

施設の現状	施設概要							
	<p>生涯学習センターは、生涯学習の振興を図ることを主たる目的としつつ、区との連携をはじめ地域との結びつきを強めることにより、市民の交流と地域活動の発展を促すことを目的としています。</p> <p>また、生涯学習社会の実現に向けて、地域に密着した市民の自主的な学習活動を促進するために、「まなぶ」(学習のきっかけづくり)、「つながる」(他者との交流を図りながら学習を深める)、「いかす」(学習成果を地域社会に還元する)の段階を経ながら、学びが連続的・継続的に広がる「ひとづくり」「まちづくり」を生涯学習推進の根幹として事業を展開しています。</p>							
	市の収支状況(千円) (元年度決算見込み額)							利用料金
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	9,818
	31,760	916	32,676	1	893	31,782	32,676	
特記事項								
平成29年度まで市直営だったが、平成30年度からは指定管理者制度を導入している。								
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	利用件数	件	-	-	4,765	4,401		
	利用人数	人	-	-	73,884	67,878		
	利用率	%	-	-	55.5	55.8		
	特記事項							
令和2年3月2日から5月31日まで 新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため休館した。(体育室6月7日まで、料理室7月31日まで利用を停止した。)								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載